

VR 技術者認定試験 注意事項

本試験の受験に関する以下の注意事項をよく読み、内容を理解した上で申し込みの手続きを行ってください。申込後に試験を受験しなかった場合、不具合などにより受験できなかった、もしくは十分な試験時間が確保されなかった場合、および失格となった場合は、受験料の返金は原則行いません。

- ・本試験はオンラインで実施します。試験を公正に行い、不正を防止するために、試験中は受験者の様子をカメラにより撮影し、録画します。試験中に不正行為が、もしくは、不正と疑わしい行為が判明した場合は、失格となります。

- ・録画した動画は、試験事務局が試験中の不正行為防止や今後のサービス改善の参考にします。それ以外の目的で利用することは一切ありません。

- ・試験前に、本人確認のため顔写真を撮影します。撮影時はマスクやフェイスガード、サングラスなどは取ってください。

- ・顔写真の撮影に続き、本人確認用の身分証明書を、画面の指示に沿ってカメラへ提示してください。氏名・顔写真が確認できない場合は失格となります。

【本人確認用の身分証明書として利用可能なもの】

学生の方：写真付きの学生証（写真がない学生証の場合は、学生証および一般用の証明書の両方）

一般の方：①自動車運転免許証 ②国際運転免許証（写真付き）③パスポート ④マイナンバーカード（写真付き） のいずれか一つで本人を確認できるもの。

- ・ウェブカメラで動作や受験環境が適正か判断できるように適切な照明をご利用ください。

- ・受験中に撮影した動画・音声は事務局に送信されて保存されます。プライバシー上、問題のあるものはカメラに映らない場所に予め移動してください。

- ・他の人がいない部屋で受験をし、受験中に他の人が入ってこないようにしてください。

- ・受験中はマイクに雑音や音声が入らないように、周辺環境にお気を付けてください。

- ・タッチパネル式のコンピュータを使用して受験する場合は、解答時にディスプレイへのタッチ操作は行わないでください。外付けマウスもしくはキーボード内のポインタ等などを使用してください。

- ・本人の確認不足などにより、試験時間中に適正に試験システムが動作できない場合は失格となります。受験前に利用環境チェックを必ず実施し、不明な点を解決してください。

- ・試験事務局は、受験者の通信設備、コンピュータ等の事情による通信障害や、その他本人の責により受験に不具合が生じた場合の責任は負いかねます。事前の動作確認を必ず行ってください。

- ・試験中に不具合が生じた際、本人の過失の有無に関わらず、試験時間の延長や再試験は行

いません。

- ・以下に示す禁止事項に該当する行為があった場合は失格とします。

禁止事項

①代理受験および受験権利の譲渡

試験は、受験者として登録をしたご本人が受験してください。第三者による代理受験および第三者への受験権利の譲渡はいかなる場合もできません。これに違反した場合、もしくは違反したと疑われる場合は、失格となります。

【失格になる場合】

- ・顔写真および本人確認用身分証の撮影が不適切であり本人の顔が確認できない場合
- ・受験登録者以外の者が受験した場合
- ・試験中、受験者が入れ替わった場合
- ・試験中に席を離れた場合
- ・試験中、カメラでの撮影画角内に受験者本人が映らず、受験者本人の受験確認および不正行為の検証ができない場合

②不正行為および不正行為とみなされる行為

試験の公正を期すため、以下の行為は禁止します。これに違反した場合、もしくは違反したと疑われる場合は、失格となります。

【失格となる場合】

- ・サングラスなど、カメラから目を隠すようなものを着用した場合
- ・ヘッドフォン、イヤフォンを装着する、もしくは装着を疑われる行為を行った場合
- ・試験中に教科書や講習会資料、過去問などを見た、もしくは見たと疑われる行為を行った場合
- ・VR技術者認定試験指定ブラウザ以外のアプリケーションを開いた、もしくはアプリケーションの画面を閲覧した場合
- ・規定の試験時間が終了する前に、メールやSNSへの書き込み、会話や手記などにより試験に関する内容を他者に伝える行為を行った場合
- ・試験中に他人に話しかけた場合、もしくは話しかけられた場合
- ・試験中に携帯電話及びその他の電子機器を使用した場合
- ・試験中にコーヒー・お茶・水などを含め、飲食した場合、もしくは喫煙した場合
- ・その他、不正行為が行われていると疑われる行為を行った場合

③その他、注意事項等への違反

【特記事項】

・ご病気などの止むを得ない事情により、試験時間中に席を離れる必要がある場合、また、試験時間中に指定のお薬などを服用する必要がある場合は、予め届け出てください。なお、これらの場合、医師による診断書が必要になる場合があります。

・試験中は指定ブラウザ以外のアプリケーションや受験用コンピュータ以外の電子機器の使用を禁じていますが、不具合が発生し、試験の続行に支障がある場合は、「氏名」「受験番号」「不具合の内容（可能な限り具体的に）」をヘルプデスクへメールにてご連絡ください。